

# 平成 22 年度 第 1 回 掛川総合スポーツクラブ推進委員会 議事録

平成 22 年 8 月 27 日 (金)

開会 19:30

総合体育館さんりーな 研修室

## \*出席者\*

栞原貞秋 (NPO 法人掛川市体育協会会長)、  
小林弘壽 (会員代表)、宇山久美子 (会員代表)、山本芳英 (会員代表)、  
浅場直樹 (会員代表)、鈴木秀子 (指導者の会)、松浦岩男 (掛川ソフトボール連盟)、  
鈴木正治 (スポーツ少年団副本部長)、三浦茂 (掛川市 B&G 指導員会会長)、  
今駒敏雄 (社会教育課スポーツ振興係長)、山田光宏 (保健予防課保健企画係長)、  
戸塚美樹 (商工労働観光課商工労政係長)、深谷富彦 (福祉課社会福祉係長)、  
赤堀博 (原谷小学校校長)、野口安男 (掛川西中学校校長)、  
松浦金作 (NPO 法人掛川市体育協会副会長兼専務理事)、  
板垣晶行 (掛スポゼネラルマネジャー)、小池正浩 (掛スポサブマネジャー)、  
中原信義 (事業課課長)、松浦圭吾 (掛スポ事務局)、森川歩美 (掛スポ事務局)

## \*欠席者\*

鈴木俊彦 (掛川市体育指導委員会会長)、中村泰久 (スポーツ少年団事務局長)、  
松浦伸弥 (生涯まちづくり課係長)、鈴木哲之 (高齢者支援課高齢者政策係長)、  
安藤彰 (農林課農政係長)、山下真弘 (掛川市商工会議所課長)、  
松井洋治 (掛川市社会福祉協議会総務部門主任)、  
岡部弘 (NPO 法人掛川市体育協会競技技術委員長)

## 1 開会のことば

### 2 あいさつ

栞原 (体協会長)

猛暑の中お疲れのところお集まり頂き、ありがとうございます。

総合スポーツクラブは皆さんのおかげで順調に推移している。  
職員一同今後どのように進めていくのが一番よいか考えてお  
り、皆さんから色々な意見を頂戴したい。

平成 22 年 7 月より第 2 次 5 ヶ年計画がスタートした。その中

で競技力向上のため、指導者バンクの推進をしていきたい。  
掛スポは指導者の会など、多くの指導者の方にお手伝いいただきながら運営している。市内には他にも色々な指導を出来る方がいらっしゃるので、派遣などご協力いただける方がいたら紹介をお願いしたい。  
その他、体育協会は新しい事業（農園、地域通貨、旅行業）も始めたので、そちらもよろしくをお願いしたい。

### 3 報告事項

#### 1) 平成 21 年度 掛スポ実績報告について

小池（掛スポサブマネージャー） ※P 1 に基づき報告

#### 2) 平成 22 年度 掛スポ事業方針と事業計画について

小池（掛スポサブマネージャー） ※P 2 ～P 3 に基づき報告

#### 3) NPO 法人掛川市体育協会の第 2 次中期構想について

板垣（掛スポゼネラルマネージャー） ※P 4 に基づき報告

### 4 質疑応答

小林（会員代表） 高齢化が進んでいる中で、高齢者が運動を続けられるようなプログラム作りを進めてほしい。

小池（掛スポサブマネージャー） 高齢者向けのプログラムとして交流プログラムがある。このプログラムはニュースポーツを行っていて、フーバやファミリーバトミントンなど高齢者の方でも気軽にできる内容になっている。今後PRしていきたい。

宇山（会員代表） 掛川市内でもまだ掛スポのプログラムがあまり知られていないのではないかと。たくさんの良いプログラムがあるので伝えていけたらいい。

小池（掛スポサブマネージャー） ホームページを充実させているので、そちらを活用して掛スポを知ってもらえればと思う。また、2ヶ月に1回はつらつ通信が各世帯に配られるので、そちらも見て頂きたい。

山本（会員代表） 周りにスポーツをやりたい友達がいるが車がないため、さんりーなに行くのが大変。何かいい方法はないか。

- 浅場（会員代表） 掛川市に立派な体育館ができたことはすごく嬉しく思う。だが夏場の運動をアリーナで行うのは苦痛である。他の地域の体育館はエアコンが設備されている。夏場の運動が快適に行なえる環境を整えてほしい。
- 板垣（掛スポゼネラルマネージャー） エアコン設置については、大井川用水との兼ね合いがあるため難しいとされている。  
行政も承知していただいているが、エアコン設置には莫大な資金が掛かるため、現状、すぐに設置するという事は難しい。
- 鈴木（指導者の会） 掛スポのプログラムではマイレフラというフラダンスを担当している。若い方から年配の方まで幅広く来ていただいている。さんりーなは託児があるので子育て中のお母さんが教室に来られるのが良いと思う。だが、希望者が多いと託児に預けられないため、もう少し託児スタッフの人数を増やしてほしい。  
年配の方は1度難しいと思ってしまうとやりたくなくなってしまう。指導者として、いかに簡単で楽しんで続けてもらえるかが鍵になってくる。  
あいあい学園にフラダンスの指導に行っていて、さんりーなでは色々なスポーツが出来ることを知って、さんりーなに行きたいという意見がある。体験したい人の入口がよくわからないので明確になるといい。
- 松浦（掛川ソフトボール連盟） 掛川はソフトボールが盛んである。女子はソフトボールをやる環境が小学校から高校まで段階があるが、男子はソフトボールをやっているところが少ない。掛スポのソフトボール教室にも数人男子が参加するようになってきてはいるが、今後は男子の方の育成にも力を入れていきたいのでPRをしてほしい。
- 鈴木（スポ少副本部長） さんりーなにはエアコンとクラブハウスが必要だと考えるが、実現するには難しいのが現状。このまま暑い状況が続くようであれば、今後夏場のさんりーな利用者が減ることも予想されるので、何かしら対策が必要である。

現在地域通貨「いーさ」はどの程度出回っているのか？  
このような会の時に掛ファームの物を試食出来たりすれば、  
皆さんに取組みを知っていただける良い機会になるのでは。

- 板垣（掛スポゼネラルマネージャー） 体協地域通貨「いーさ」は事務局で230万いーさ預かっている。現在おそらく60万～70万いーさが地域住民に渡っている。9月に半期の報告をする。
- 三浦（B&G指導員会会長） マリンスポーツの行事が近年増えているが、イベントや体験会などを行なう目的や方向性をもっと考えて開催する必要がある。
- 今駒（社会教育課） 市町村対抗駅伝は今年11回目を迎える。第1回大会11位、昨年10回大会は27位だった。高校生女子の選手が少ないため、推薦をお願いしたい。協力をよろしく。
- 山田（保健予防課） 健康21のチラシが広報と一緒に配られている。それに掲載されているイベントに参加で「いーさ」を配布する。
- 戸塚（商工労働観光課） 会員数は伸びてきているのか。  
イベント事業計画の参加者数は実績数なのか。
- 小池（掛スポサブマネージャー） 会員数はピーク時2,050人であった。現在も順調に推移している。  
イベントの参加者数は8/7のスイカ割り大会までは結果報告である。今後のイベントに関しては見込みである。
- 深谷（福祉課） スポーツや新しい事業で体育協会が街づくりを考えているのはいいことだと思う。
- 赤堀（原谷小学校校長） 参加者の地域性のバランスはどうか。南地区からさんり一なは遠いため、誰もが同じような条件で出掛けていけたらいいと思う。
- 野口（西中学校校長） 学校での部活動の指導者が不足している為、現在でも外部から指導者が来て指導をしてくれたり、来られない時は顧問に

メールでメニューを送ってくれたりしてはいるが、指導者と学校の時間帯が合わないなど課題も多い。今後は指導者バンクが学校と連携が取れるようになっていくとありがたい。

松浦（体協副会長兼専務） 教育委員会との会議では、皆さんから頂いた意見を伝え、今何が出来るか提案していこうと思う。

市内の小・中学校で75%の子どもが運動部に所属していると言われてるように、大半の子どもが部活動を行なっていることから、体育協会で指導者バンクを作って専門の指導者を派遣し、充実した部活動になるようにしたい。

大東・大須賀地区は夏休み期間中は合宿で多くの方が来る。本年度も7～8月で14団体2,090人の方が合宿を行い、大東・大須賀に宿泊した。スポーツは観光資源だと思う。有効活用していけたらいい。

病気や体を動かすことが苦になってしまった人をどう外に出てきてもらい、スポーツを楽しんでもらうか、体育協会として考えていきたい。

栗原（体協会長） みなさんの意見を参考にしながら、今後活動していきたい。

基はスポーツ!!

掛ツアー＝地域の方へ親切

掛マネー「いーさ」＝ボランティアのお礼

掛ファーム＝食育推進

新規事業の方もみなさんのご協力とご支援をいただければと思う。

## 5 閉会のことば

以上  
文責／森川